

# 『市民の意見を聴く会』を実施しました

昨年度は、新型コロナウイルスの影響により中止としましたが、今年度は感染症予防対策を徹底したうえで開催できる方法を検討しました。

これまでのような多くの市民に参加していただく方法ではなく、各常任委員会が事務的な関わりのある団体との意見交換をする方法で実施しました。

## ◆総務委員会 令和3年4月24日(土) 小牧市消防団

- ・分団車庫が狭く、作業に支障をきたしているため、早期に更新を行ってほしい。
- ・消防団に入る人員が少なくなっている。
- ・30歳前後より若い方の普通自動車免許では、現行の消防車両を運転できないため、資格取得の補助をしてほしい。
- ・小牧市消防団を地域の方に知ってもらうため、地域活動に積極的に参加できる場がほしい。
- ・子どもの認知度を高めるよう、教育カリキュラム等で知っていただきたい。



## ◆福祉厚生委員会 令和3年5月6日(木) 尾張北部権利擁護支援センター



- ・成年後見制度の認知度が低く、制度の運用が浸透しない。
- ・難しい制度というイメージが強く、利用者が少ない。
- ・後見人の受任者不足が課題である。
- ・成年後見人の養成と法人受任を増やすことが課題である。
- ・権利擁護支援センターの周知をもっと図る必要がある。
- ・地域福祉の観点から司法だけでなく、福祉分野での活用が必要であるため、行政、医療、福祉の連携を強化する必要がある。

## ◆文教建設委員会 令和3年6月26日(土) 小牧市PTA連絡協議会

- ・コロナ禍で、本年度は先生が校内の消毒等を実施している。昨年度のように、各小中学校に用務員を雇用してほしい。
- ・家庭でのタブレットの使用方法や、Wi-Fi環境が整っていない家庭への対応を考えてほしい。
- ・部活動や大会、学校行事などを安易に中止にせず、工夫して実施してほしい。
- ・コロナ感染者が発生した場合の濃厚接触者について学校の基準や子どもへのワクチン接種について教えてほしい。



皆様よりお伺いしましたご意見・ご要望は、今後の議会活動にいかしてまいります。